

お子さんのよりよい成長を目指して、一緒に考えましょう

# お気軽に御相談ください



# 子育ての困りごと、ありませんか？



## 福生市の 相談窓口



**幼児**の保護者の方は

**子育て世代包括支援センター**  
(福生市保健センター2階)  
毎週月曜日から土曜日(祝日を除く)  
午前8時30分から午後5時15分  
※水曜日は、午後8時まで  
※土曜日は、正午から午後1時は除く  
☎ **042-552-0061**

小・中学生の保護者の方は

**福生市教育相談室**  
毎週月曜日から土曜日(祝日を除く)  
午前8時30分から午後5時15分  
☎ **042-551-7700**

お子さんの子育てで、何か心配なことがありましたら、どのようなことでもお気軽に御相談ください。  
相談は予約制で、専門家とじっくり話すことができます。  
あらかじめ電話などで申し込んでからお越しください。



遊びのルールや順番を守れずに、友達とトラブルになってしまう



予定が急に変わると、どうしてもそれを受け入れることができない



言葉での指示が極端に伝わりにくい



## 気になる行動や反応はありませんか

人の気持ちを理解することが苦手で、人を怒らせてしまう



周囲の流れとは無関係な行動をとってしまう



集中して一つのことに取り組める時間が極端に短い



## 早い時期から周囲が理解し、適切な支援をすることで、お子さんが感じている困難さを減らすことができます。

こうした子どもたちは、自分の行動や言動を注意されたり、しかられたりしても、自分だけでは改善することができず、心が傷付いたり、困っていたりすることがあります。

なるべく早い段階から、保護者や教員、保育士等が、子どもの様子から気になる姿に気付いて、よりよい成長のために必要な支援を行い、自信を育むことが大切です。



## 福生市は特別支援教育を推進しています

特別支援教育とは、幼児・児童・生徒一人一人の教育的ニーズを把握し、そのもてる力を高め、生活や学習上の困難を改善又は克服するため、適切な指導及び必要な支援を行う教育のことです。福生市の全ての小・中学校は「福生市特別支援教育プログラム」に基づき、特別支援教育の充実に力を入れています。

福生市 特別支援教育

検索



## 発達障害を知っていますか？

### 予定が急に変わるととても混乱するAさんの例



急に予定が変わったり、初めての場所に行ったりすると、不安になり、動けなくなることがよくあります。



そんなとき、周りの人が促すと、余計に不安が高まって、突然大きな声を出してしまいます。

でも、先の予定の流れを教えてもらって、見通しがもてると、一生懸命、活動に取り組むことができます。

Aさんのようなタイプの子は、広汎性発達障害（自閉症・アスペルガー症候群等）と呼ばれる発達障害がある可能性があります。このほかにも、「マイペースでこだわりがある」「挨拶が苦手」「友達と遊べない」「気に入らないと泣き叫ぶ」「視線が合わない」「できないと怒り出す」「言葉の意味を取り違える」など、様々なタイプの子がいます。

### 忘れものや不注意が極端に多いBさんの例



自分の道具の整理や、席にじっと座っていることが苦手です。順番を守らずに割り込んでしまうことがある



ため、友達が「自分勝手だ。」と怒ることもしばしばです。

でも、気配り名人で、困っている人がいれば、誰よりも早く気付いて、声をかけたり、手助けをしたりすることができます。

Bさんのようなタイプの子は、注意欠陥多動性障害（ADHD）と呼ばれる発達障害がある可能性があります。このほかにも、「落ち着きなく動き回る」「座ってられない」「食事中にもじもじ動く」「人の話に割り込んでくる」「やっていることを投げ出して他のことを始める」「音がすると、飛んでいく」など、様々なタイプの子がいます。

### 漢字を正しく書くことが苦手なCさんの例



漢字を書くことが苦手で、何度も書いて、繰り返して練習しても、なかなか正しく書くことができません。



努力しているのに、努力不足だと思われてしまうこともあります。

でも、自分に合った漢字の覚え方や練習の仕方を学校で教えてもらえば、正しく書くことのできる漢字を増やすことができます。

Cさんのようなタイプの子は、学習障害（LD）と呼ばれる発達障害がある可能性があります。このほかにも、「文を正確に素早く読むのが苦手」「人の話を正しく聞き取ることが苦手」「長い文章の意味を理解することが苦手」「文章を書くことが苦手」「計算や文章題に取り組むことが苦手」など、様々なタイプの子がいます。

※ ここに示したのは、あくまで一例です。

## 周囲の正しい理解と適切な支援が必要です。

発達障害は、  
脳の機能に何らかの障害があること  
によるものと考えられています。

脳の機能の障害なので、  
特性に見合った丁寧な関わり方を  
保護者や周りの支援者はする必要があります。

- 小さなサインを見逃さないようにしましょう。
- 子どもたちの得意なことやよいところに目を向けましょう。
- 子どもが安心して学習し、行動できる環境を整えましょう。

保護者の育て方が悪いとか、  
愛情のかけ方が足りないためでは  
ありません。

早くから適切な対応を、  
家庭や保育園、幼稚園などで行えば、  
子どもは自分の中にある可能性を  
伸ばしていくことができます。



発達障害は、障害の困難さも目立ちますが、優れた能力が発揮されていることも多く、周りから見てアンバランスな様子が理解されにくい障害です。近年では、発達障害の特徴のある人はまれな存在ではなく、ごく身近にいることが分かってきました。

思春期になると、本人も自らの問題点を意識できるようになりますが、周りの人たちが本人の特性を理解していない場合、「努力不足」「協調性がない」などに見なされる結果となり、本人の自己評価が下がってしまいます。その結果、うつ状態や反社会的行動など、二次障害を引き起こすこともありますので、早めに丁寧に支援していくことが大切です。

